

社会福祉学部の活動記録

目次

1. 2009年度社会福祉学部開講科目
2. 2009年度社会福祉学部の活動
3. 2009年度社会福祉学部教員の研究業績
4. 2009年度卒業論文題目一覧

1. 2009年度社会福祉学部開講科目

社会福祉学演習 A I	吉永 純	介護概論 II	小松 一子
社会福祉学演習 A II	山崎イチ子	公的扶助論 I	吉永 純
社会福祉学演習 A III	林 信明	公的扶助論 II	吉永 純
社会福祉学演習 A IV	岸野 拓男	高齢者福祉論 I	宇理須典子
社会福祉学演習 A V	宇理須典子	高齢者福祉論 II	秦 康宏
社会福祉学演習 A VI	川島ゆり子	児童福祉論 I	津崎 哲郎
社会福祉学演習 A VII	小松 一子	児童福祉論 II	津崎 哲郎
社会福祉学演習 A VIII	福富 昌城	社会政策論 I	安田三江子
社会福祉学演習 A IX	安田三江子	社会政策論 II	安田三江子
社会福祉学演習 A X	津崎 哲郎	社会福祉運営論 I	立岡 浩
社会福祉学演習 B I	吉永 純	社会福祉運営論 II	立岡 浩
社会福祉学演習 B II	山崎イチ子	社会福祉援助技術演習 A 1	吉永 純
社会福祉学演習 B III	林 信明	社会福祉援助技術演習 A 2	安田三江子
社会福祉学演習 B IV	岸野 拓男	社会福祉援助技術演習 A 3	車川 豊
社会福祉学演習 B V	宇理須典子	社会福祉援助技術演習 A 4	坂口扶仁子
社会福祉学演習 B VI	川島ゆり子	社会福祉援助技術演習 A 6	萩原 尚子
社会福祉学演習 B VII	小松 一子	社会福祉援助技術演習 A 7	矢野 隆弘
社会福祉学演習 B VIII	福富 昌城	社会福祉援助技術演習 A 8	塩田 祥子
社会福祉学演習 B IX	安田三江子	社会福祉援助技術演習 A 9	櫛田 匠
社会福祉学演習 B X	津崎 哲郎	社会福祉援助技術演習 A10	岸野 拓男
社会福祉援助技術論 I - I	福富 昌城	社会福祉援助技術演習 A11	川島ゆり子
社会福祉援助技術論 I - II	福富 昌城	社会福祉援助技術演習 A12	鳴海 賢三
社会福祉原論 I	吉永 純	社会福祉援助技術演習 A13	福富 昌城
社会福祉原論 II	福富 昌城	社会福祉援助技術演習 B 1	石田 雅弘
社会福祉史 (外国史を含む) I	林 信明	社会福祉援助技術演習 B 2	山本 陽子
社会福祉史 (外国史を含む) II	林 信明	社会福祉援助技術演習 B 3	窪田 容子
家族社会学 I	和田美智代	社会福祉援助技術演習 B 4	片山 由美
家族社会学 II	和田美智代	社会福祉援助技術演習 B 5	松崎 喜良
介護概論 I	小松 一子	社会福祉援助技術演習 B 6	藤田 緑郎
		社会福祉援助技術演習 B 7	龍尾 和幸
		社会福祉援助技術演習 B 8	下藪 誠

社会福祉援助技術演習 B 9	和田美智代	社会福祉法制論 I	和田 隆夫
社会福祉援助技術演習 B 10	渡邊恵美子	社会福祉法制論 II	和田 隆夫
社会福祉援助技術論 II - I	三品 桂子	社会保障論 I	和田美智代
社会福祉援助技術論 II - II	三品 桂子	社会保障論 II	和田美智代
社会福祉援助技術論 III	植田 寿之	障害者福祉論 I	廣瀬 明彦
社会福祉援助技術論 IV	室田 信一	障害者福祉論 II	廣瀬 明彦
社会福祉援助技術論 V - I	田中 志敬	地域福祉論 I	川島ゆり子
社会福祉援助技術論 V - II	田中 志敬	地域福祉論 II	川島ゆり子
社会福祉実習 1	吉永 純	聴覚言語障害者福祉論 I	島田 浩之
社会福祉実習 2	安田三江子	聴覚言語障害者福祉論 II	島田 浩之
社会福祉実習 3	車川 豊	社会福祉特論 I	津崎 哲郎
社会福祉実習 4	坂口扶仁子	社会福祉特論 II	津崎 哲郎
社会福祉実習 6	萩原 尚子	医療ソーシャルワーク論 I	藤田 緑郎
社会福祉実習 7	矢野 隆弘	医療ソーシャルワーク論 II	藤田 緑郎
社会福祉実習 8	塩田 祥子	保健医療サービス I	藤田 緑郎
社会福祉実習 9	櫛田 匠	保健医療サービス II	藤田 緑郎
社会福祉実習 1 0	岸野 拓男	相談援助の基盤と専門職 I	福富 昌城
社会福祉実習 1 1	川島ゆり子	相談援助の基盤と専門職 II	福富 昌城
社会福祉実習 1 2	鳴海 賢三	相談援助の理論と方法 I	三品 桂子
社会福祉実習 1 3	福富 昌城	相談援助の理論と方法 II	三品 桂子
社会福祉実習指導 I 1	宇理須典子	相談援助の理論と方法 III	植田 寿之
社会福祉実習指導 I 2	福嶋 正人	相談援助の理論と方法 IV	室田 信一
社会福祉実習指導 I 3	下 蘭 誠	社会調査の基礎 I	田中 志敬
社会福祉実習指導 I 4	植村 要	社会調査の基礎 II	田中 志敬
社会福祉実習指導 I 5	片山 由美	福祉行政と福祉計画 I	今井 久人
社会福祉実習指導 I 6	後藤登美子	福祉行政と福祉計画 II	今井 久人
社会福祉実習指導 I 7	岡本 久子	福祉サービスの組織と経営	立岡 浩
社会福祉実習指導 I 8	安田三江子	就労支援サービス	島田 肇
社会福祉実習指導 I 10	大津 雅之	権利擁護と成年後見制度	出路 光一
社会福祉実習指導 I 11	坂下 晃祥	更生保護制度	廣田 玉枝
社会福祉実習指導 II 1	吉永 純	社会福祉 卒論指導	福富 昌城
社会福祉実習指導 II 2	安田三江子	医学一般 I - I	中川 卓雄
社会福祉実習指導 II 3	車川 豊	医学一般 I - II	中川 卓雄
社会福祉実習指導 II 4	坂口扶仁子	医学一般 II	中川 卓雄
社会福祉実習指導 II 6	萩原 尚子	リハビリテーション論	古井 透
社会福祉実習指導 II 7	矢野 隆弘	レクリエーション活動援助法	檜 智子
社会福祉実習指導 II 8	塩田 祥子	家政学概論 II	浅山 清治
社会福祉実習指導 II 9	櫛田 匠	家政学実習 I (調理)	浅山 清治
社会福祉実習指導 II 10	岸野 拓男	家政学実習 II (被服)	浅山 清治
社会福祉実習指導 II 11	川島ゆり子	介護技術 I	太田 蓉子
社会福祉実習指導 II 12	鳴海 賢三	介護技術 II	山崎イチ子
社会福祉実習指導 II 13	福富 昌城		山崎イチ子

介護技術Ⅲ	三好 弥生		藤井 裕子
	山崎イチ子	介護実習Ⅲ	小松 一子
介護実習（1回生）	小松 一子		川野 素子
	山崎イチ子		山田 陽子
	小松 一子		藤井 裕子
	川野 素子		板垣あい子
介護実習（2回生）	村上 由佳	介護実習Ⅳ	小松 一子
	山崎イチ子		山田 陽子
	小松 一子		藤井 裕子
	川野 素子		板垣あい子
介護実習（3回生）	山田 陽子	実習指導Ⅱ	川野 素子
	藤井 裕子		村上 由佳
	小松 一子	実習指導Ⅲ	小松 一子
	川野 素子		川野 素子
	山田 陽子	社会福祉研究実習 1	吉永 純
介護実習（4回生）	藤井 裕子	社会福祉研究実習 2	安田三江子
	板垣あい子	社会福祉研究実習 3	車川 豊
	小松 一子	社会福祉研究実習 4	坂口扶仁子
	山田 陽子	社会福祉研究実習 6	萩原 尚子
	藤井 裕子	社会福祉研究実習 7	矢野 隆弘
	板垣あい子	社会福祉研究実習 8	塩田 祥子
形態別介護技術Ⅰ	山崎イチ子	社会福祉研究実習 9	櫛田 匠
形態別介護技術Ⅰ	小松 一子	社会福祉研究実習10	岸野 拓男
形態別介護技術Ⅱ	山崎イチ子	社会福祉研究実習11	川島ゆり子
形態別介護技術Ⅱ	小松 一子	社会福祉研究実習12	鳴海 賢三
形態別介護技術Ⅲ	島田 浩之	社会福祉研究実習13	藤田 緑郎
形態別介護技術Ⅳ	大藪眞知子	老人・障害者の心理Ⅰ	尾崎 勝彦
介護実習Ⅰ	山崎イチ子	老人・障害者の心理Ⅱ	尾崎 勝彦
介護実習Ⅰ	小松 一子	介護の基本Ⅰ	上伸 洋子
介護実習Ⅰ	川野 素子	介護の基本Ⅱ	小松 一子
介護実習Ⅰ	村上 由佳	コミュニケーション技術Ⅰ	吉田 啓子
実習指導Ⅰ	小松 一子	生活支援技術Ⅰ 1	山崎イチ子
実習指導（1回生）	小松 一子	生活支援技術Ⅰ 2	山崎イチ子
実習指導（2回生）	川野 素子	生活支援技術Ⅱ 1	三好 弥生
	村上 由佳	生活支援技術Ⅱ 2	三好 弥生
実習指導（3回生）	小松 一子	生活支援技術Ⅲ 1	山崎イチ子
	川野 素子	生活支援技術Ⅲ 2	山崎イチ子
社会福祉援助技術演習（3回生介護）	福富 昌城	生活支援技術Ⅳ 1	三好 弥生
介護実習Ⅱ	山崎イチ子	生活支援技術Ⅳ 2	三好 弥生
	小松 一子	介護実習総合演習Ⅰ	小松 一子
	川野 素子		川野 素子
	山田 陽子	介護実習 A	山崎イチ子

人体の構造と機能及び疾病
 介護技術の基礎知識 I
 福祉心理学演習 A I
 福祉心理学演習 A II
 福祉心理学演習 A III
 福祉心理学演習 A IV
 福祉心理学演習 A V
 福祉心理学演習 A VI
 福祉心理学演習 A VII
 福祉心理学演習 A VIII
 福祉心理学演習 A IX
 福祉心理学演習 A X
 福祉心理学演習 B II
 福祉心理学演習 B III
 福祉心理学演習 B IV
 福祉心理学演習 B V
 福祉心理学演習 B VI
 福祉心理学演習 B VII
 福祉心理学演習 B IX
 福祉心理学演習 B X
 発達心理学 I
 発達心理学 II
 福祉心理学 I
 福祉心理学 II
 臨床心理学 I
 臨床心理学 II
 臨床心理学演習 A I
 臨床心理学演習 A II
 臨床心理学演習 A III
 臨床心理学演習 A IV
 臨床心理学演習 A V
 臨床心理学演習 A VI
 臨床心理学演習 A VII
 臨床心理学演習 A VIII
 臨床心理学演習 A IX
 臨床心理学演習 A X
 家族心理学 II
 コミュニティ心理学
 高齢者心理

小松 一子 家族心理学 I
 川野 素子 認知心理学
 村上 由佳 心理研究法
 今井 逸子 カウンセリング I
 小松 一子 カウンセリング II
 荒木ひさ子 障害者心理
 廣瀬 明彦 心理アセスメント論
 渡邊 実 心理測定法
 小谷 裕実 性格心理学
 小海 宏之 心理学の人間関係論
 東 牧子 精神医学 I
 丹治 光浩 精神医学 II
 三品 桂子 精神保健 I
 妹尾 香織 精神保健 II
 橋本 和明 精神保健福祉論 I
 廣瀬 明彦 精神保健福祉論 II
 渡邊 実 精神保健福祉論 III
 小谷 裕実 精神保健福祉援助技術各論 I
 小海 宏之 精神保健福祉援助技術各論 II
 東 牧子 精神科リハビリテーション学 I
 三品 桂子 精神科リハビリテーション学 II
 妹尾 香織 精神保健福祉援助演習 3
 矢持九州王 精神保健福祉援助演習 4
 渡邊 実 精神保健福祉援助実習 3
 渡邊 実 精神保健福祉援助実習 4
 荒木ひさ子 精神保健福祉実習指導 3
 荒木ひさ子 精神保健福祉実習指導 4
 小川 恭子 精神保健福祉実習 3
 小川 恭子 精神保健福祉実習 4
 荒木ひさ子 スピリチュアリティの心理学
 廣瀬 明彦 ZENと現代心理療法
 渡邊 実 カウンセリングと心理療法
 小谷 裕実 非行と司法臨床
 小海 宏之 青少年問題論
 東 牧子 比較臨床哲学
 丹治 光浩 心理療法学 I
 三品 桂子 心理療法学 II
 妹尾 香織 発達障害心理学
 橋本 和明 心理統計法
 妹尾 香織 パーソナリティ心理学
 三品 桂子 学校心理学
 尾崎 勝彦 福祉心理 卒論指導

妹尾 香織
 破田野智己
 破田野智美
 小海 宏之
 橋本 和明
 尾崎 勝彦
 東 牧子
 東 牧子
 山本 陽子
 山本 陽子
 塚崎 直樹
 塚崎 直樹
 小谷 裕実
 小谷 裕実
 三品 桂子
 三品 桂子
 三品 桂子
 石神 文子
 関谷 典子
 佐藤 純
 佐藤 純
 三品 桂子
 平形 恒雄
 三品 桂子
 平形 恒雄
 三品 桂子
 平形 恒雄
 三品 桂子
 平形 恒雄
 荒木ひさ子
 荒木ひさ子
 小海 宏之
 橋本 和明
 水谷 修
 水谷 修
 荒木ひさ子
 荒木ひさ子
 片岡 基明
 破田野智美
 村松 朋子
 村松 朋子
 三品 桂子

児童発達学Ⅰ（身体の仕組みと働き）	杉本 英造	障害児教育行政論Ⅰ	廣瀬 明彦
児童発達学Ⅱ（脳と心のなりたち）	杉本 英造	障害児の心理Ⅰ	磯部美也子
家族援助総論	津崎 哲郎	障害児の心理Ⅱ	磯部美也子
保育原理Ⅰ	高橋美知子	障害児の病理と保健	小谷 裕実
保育原理Ⅱ	高橋美知子		郷間 英世
保育内容総論	矢持九州王	障害児教育方法Ⅰ	渡邊 実
乳児保育Ⅰ	田中紀久子	障害児教育方法Ⅱ－Ⅰ	渡邊 実
乳児保育Ⅱ	田中紀久子	障害児教育実習の研究	渡邊 実
子どもの観察と記録	奥山 淑子	障害児教育実習	小谷 裕実
児童音楽演習ⅠⅠ	植田恵理子		渡邊 実
児童音楽演習ⅠⅡ	植田恵理子		
造形表現演習Ⅰ	古林 茂	○教職課程（幼稚園）	
精神保健論	小谷 裕実	教職概論Ⅰ	桐田 清秀
生化学Ⅰ	岸野 拓男	教育原理	矢持九州王
生化学Ⅱ	岸野 拓男	教育社会論	石飛 和彦
児童体育演習ⅠⅠ	斎藤美恵子	幼児教育課程論Ⅰ	川井 蔦栄
児童体育演習ⅠⅡ	斎藤美恵子	保育内容総論	矢持九州王
障害児保育	矢持九州王	教育方法論Ⅱ	奥山 研司
		付属幼稚園実習指導	矢持九州王
○教職課程（特別支援学校）			小川 恭子
障害者教育総論	廣瀬 明彦		高橋美知子
特別支援教育概論Ⅰ	吉利 宗久		奥山 淑子
特別支援教育概論Ⅱ	吉利 宗久	付属幼稚園実習	矢持九州王
知的障害者の心理Ⅰ	磯部美也子		小川 恭子
知的障害者の心理Ⅱ	磯部美也子		高橋美知子
知的障害者の病理	小谷 裕実		奥山 淑子
肢体不自由者の心理・生理・病理	小谷 裕実	児童音楽演習ⅠⅠ	植田恵理子 他
病弱者の心理・生理・病理	郷間 英世	児童音楽演習ⅠⅡ	植田恵理子 他
知的障害者教育Ⅰ	渡邊 実	造形表現演習Ⅰ	古林 茂
知的障害者教育Ⅱ	渡邊 実	児童体育演習ⅠⅠ	斎藤美恵子
知的障害者の言語障害指導	渡邊 実	児童体育演習ⅠⅡ	斎藤美恵子
特別支援教育指導法Ⅰ	林 賢三	障害児保育	矢持九州王
特別支援教育指導法Ⅱ	林 賢三	家族援助総論	津崎 哲郎
肢体不自由者教育Ⅰ	谷 浩一	子どもの観察と記録	奥山 淑子
肢体不自由者教育Ⅱ	谷 浩一	青少年問題論	水谷 修
病弱者教育Ⅰ	荒木ひさ子	教職概論Ⅰ	桐田 清秀
病弱者教育Ⅱ	平賀健太郎	教育原理	矢持九州王
視覚障害総論	山本 利和	教育社会論	石飛 和彦
聴覚障害総論	矢持九州王	道徳教育の研究	桐田 清秀
重複LD等教育総論	渡邊 実	教育方法論Ⅱ	奥山 研司
障害児教育概説Ⅰ	吉利 宗久	児童発達学Ⅰ（身体の仕組みと働き）	杉本 英造
障害児教育概説Ⅱ	吉利 宗久	児童発達学Ⅱ（脳と心のなりたち）	杉本 英造

生化学Ⅰ	岸野 拓男	社会福祉援助技術論Ⅱ-Ⅰ	三品 桂子
生化学Ⅱ	岸野 拓男	社会福祉援助技術論Ⅱ-Ⅱ	三品 桂子
精神保健論	小谷 裕実	社会福祉援助技術論Ⅲ	植田 寿之
		社会福祉援助技術論Ⅳ	室田 信一
○社会福祉士受験資格課程		社会福祉援助技術論Ⅴ-Ⅰ	田中 志敬
人体の構造と機能及び疾病	今井 逸子	社会福祉援助技術論Ⅴ-Ⅱ	田中 志敬
心理学Ⅰ	山崎 校	社会福祉援助技術演習AⅠ	吉永 純
心理学Ⅱ	山崎 校	社会福祉援助技術演習AⅡ	安田三江子
社会学Ⅰ	八木 晃介	社会福祉援助技術演習AⅢ	車川 豊
社会学Ⅱ	八木 晃介	社会福祉援助技術演習AⅣ	坂口扶仁子
社会保障論Ⅰ	和田美智代	社会福祉援助技術演習AⅥ	萩原 尚子
社会保障論Ⅱ	和田美智代	社会福祉援助技術演習AⅦ	矢野 隆弘
社会調査の基礎Ⅰ	田中 志敬	社会福祉援助技術演習AⅧ	塩田 祥子
社会調査の基礎Ⅱ	田中 志敬	社会福祉援助技術演習AⅨ	櫛田 匠
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	福富 昌城	社会福祉援助技術演習AⅩ	岸野 拓男
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	福富 昌城	社会福祉援助技術演習AⅪ	川島ゆり子
相談援助の理論と方法Ⅰ	三品 桂子	社会福祉援助技術演習AⅫ	鳴海 賢三
相談援助の理論と方法Ⅱ	三品 桂子	社会福祉援助技術演習AⅬ	福富 昌城
相談援助の理論と方法Ⅲ	植田 寿之	社会福祉援助技術演習BⅠ	石田 雅弘
相談援助の理論と方法Ⅳ	室田 信一	社会福祉援助技術演習BⅡ	山本 陽子
地域福祉論Ⅰ	川島ゆり子	社会福祉援助技術演習BⅢ	窪田 容子
地域福祉論Ⅱ	川島ゆり子	社会福祉援助技術演習BⅣ	片山 由美
福祉行財政と福祉計画Ⅰ	今井 久人	社会福祉援助技術演習BⅤ	松崎 喜良
福祉行財政と福祉計画Ⅱ	今井 久人	社会福祉援助技術演習BⅥ	藤田 緑郎
福祉サービスの組織と経営	立岡 浩	社会福祉援助技術演習BⅦ	龍尾 和幸
社会福祉原論Ⅰ	吉永 純	社会福祉援助技術演習BⅧ	下藪 誠
社会福祉原論Ⅱ	福富 昌城	社会福祉援助技術演習BⅨ	和田美智代
高齢者福祉論Ⅰ	宇理須典子	社会福祉援助技術演習BⅩ	渡邊恵美子
高齢者福祉論Ⅱ	秦 康宏	社会福祉実習指導ⅠⅠ	宇理須典子
障害者福祉論Ⅰ	廣瀬 明彦	社会福祉実習指導ⅠⅡ	福嶋 正人
障害者福祉論Ⅱ	廣瀬 明彦	社会福祉実習指導ⅠⅢ	下藪 誠
児童福祉論Ⅰ	津崎 哲郎	社会福祉実習指導ⅠⅣ	植村 要
児童福祉論Ⅱ	津崎 哲郎	社会福祉実習指導ⅠⅤ	片山 由美
公的扶助論Ⅰ	吉永 純	社会福祉実習指導ⅠⅥ	後藤登美子
公的扶助論Ⅱ	吉永 純	社会福祉実習指導ⅠⅦ	岡本 久子
保健医療サービスⅠ	藤田 緑郎	社会福祉実習指導ⅠⅧ	安田三江子
保健医療サービスⅡ	藤田 緑郎	社会福祉実習指導ⅠⅨ	杉原百合子
就労支援サービス	島田 肇	社会福祉実習指導ⅠⅩ	大津 雅之
権利擁護と成年後見制度	出路 光一	社会福祉実習指導ⅠⅪ	坂下 晃祥
更生保護制度	廣田 玉枝	社会福祉実習指導ⅡⅠ	吉永 純
社会福祉援助技術論Ⅰ-Ⅰ	福富 昌城	社会福祉実習指導ⅡⅡ	安田三江子
社会福祉援助技術論Ⅰ-Ⅱ	福富 昌城	社会福祉実習指導ⅡⅢ	車川 豊

社会福祉実習指導Ⅱ 4	坂口扶仁子	心理学 2	山崎 校
社会福祉実習指導Ⅱ 6	萩原 尚子	社会学Ⅰ	八木 晃介
社会福祉実習指導Ⅱ 7	矢野 隆弘	社会学Ⅱ	八木 晃介
社会福祉実習指導Ⅱ 8	塩田 祥子	社会福祉原論Ⅰ	吉永 純
社会福祉実習指導Ⅱ 9	櫛田 匠	社会福祉原論Ⅱ	福富 昌城
社会福祉実習指導Ⅱ 10	岸野 拓男	地域福祉論Ⅰ	川島ゆり子
社会福祉実習指導Ⅱ 11	川島ゆり子	地域福祉論Ⅱ	川島ゆり子
社会福祉実習指導Ⅱ 12	鳴海 賢三	社会保障論Ⅰ	和田美智代
社会福祉実習指導Ⅱ 13	福富 昌城	社会保障論Ⅱ	和田美智代
社会福祉実習 1	吉永 純	公的扶助論Ⅰ	吉永 純
社会福祉実習 2	安田三江子	公的扶助論Ⅱ	吉永 純
社会福祉実習 3	車川 豊	福祉行政と福祉計画Ⅰ	今井 久人
社会福祉実習 4	坂口扶仁子	福祉行政と福祉計画Ⅱ	今井 久人
社会福祉実習 6	萩原 尚子	保健医療サービスⅠ	藤田 緑郎
社会福祉実習 7	矢野 隆弘	保健医療サービスⅡ	藤田 緑郎
社会福祉実習 8	塩田 祥子	権利擁護と成年後見制度	出路 光一
社会福祉実習 9	櫛田 匠	精神医学Ⅰ	塚崎 直樹
社会福祉実習10	岸野 拓男	精神医学Ⅱ	塚崎 直樹
社会福祉実習11	川島ゆり子	精神保健Ⅰ	小谷 裕実
社会福祉実習12	鳴海 賢三	精神保健Ⅱ	小谷 裕実
社会福祉実習13	福富 昌城	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	福富 昌城
法学（国際法を含む）	和田 隆夫	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	福富 昌城
医学一般Ⅰ－Ⅰ	中川 卓雄	相談援助の理論と方法Ⅰ	三品 桂子
医学一般Ⅰ－Ⅱ	中川 卓雄	相談援助の理論と方法Ⅱ	三品 桂子
介護概論Ⅰ	小松 一子	相談援助の理論と方法Ⅲ	植田 寿之
介護概論Ⅱ	小松 一子	相談援助の理論と方法Ⅳ	室田 信一
社会福祉研究実習 1	吉永 純	精神科リハビリテーション学Ⅰ	佐藤 純
社会福祉研究実習 2	安田三江子	精神科リハビリテーション学Ⅱ	佐藤 純
社会福祉研究実習 3	車川 豊	精神保健福祉論Ⅰ	三品 桂子
社会福祉研究実習 4	坂口扶仁子	精神保健福祉論Ⅱ	三品 桂子
社会福祉研究実習 6	萩原 尚子	精神保健福祉論Ⅲ	三品 桂子
社会福祉研究実習 7	矢野 隆弘	社会福祉援助技術論Ⅰ－Ⅰ	福富 昌城
社会福祉研究実習 8	塩田 祥子	社会福祉援助技術論Ⅰ－Ⅱ	福富 昌城
社会福祉研究実習 9	櫛田 匠	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	石神 文子
社会福祉研究実習10	岸野 拓男	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	石神 文子
社会福祉研究実習11	川島ゆり子	医学一般Ⅰ－Ⅰ	中川 卓雄
社会福祉研究実習12	鳴海 賢三	医学一般Ⅰ－Ⅱ	中川 卓雄
社会福祉研究実習13	藤田 緑郎	法学（国際法を含む）	和田 隆夫
○精神保健福祉士受験資格課程		精神保健福祉援助演習 3	三品 桂子
人体の構造と機能及び疾病	今井 逸子	精神保健福祉援助演習 4	平形 恒雄
心理学 1	山崎 校	精神保健福祉援助実習 3	三品 桂子
		精神保健福祉援助実習 4	平形 恒雄

○介護福祉士養成課程

禅学Ⅰ
 禅学Ⅱ
 人権Ⅰ 8
 人権Ⅱ 8
 自然科学概論Ⅰ（科学史）
 丸ごと健康学
 社会福祉原論Ⅰ
 社会福祉原論Ⅱ
 高齢者福祉論Ⅰ
 高齢者福祉論Ⅱ
 障害者福祉論Ⅰ
 障害者福祉論Ⅱ
 リハビリテーション論
 社会福祉援助技術論Ⅰ－Ⅰ
 社会福祉援助技術論Ⅰ－Ⅱ
 社会福祉援助技術演習
 レクリエーション活動援助法
 老人・障害者の心理Ⅰ
 老人・障害者の心理Ⅱ
 家政学概論Ⅱ
 家政学実習Ⅰ（調理）
 家政学実習Ⅱ（被服）
 医学一般Ⅰ－Ⅰ
 医学一般Ⅰ－Ⅱ
 医学一般Ⅱ
 精神保健Ⅰ
 精神保健Ⅱ
 介護概論Ⅰ
 介護概論Ⅱ
 介護技術Ⅰ
 介護技術Ⅱ

 介護技術Ⅲ

 形態別介護技術Ⅰ

 形態別介護技術Ⅱ

 形態別介護技術Ⅲ
 形態別介護技術Ⅳ

安保 省吾
 安保 省吾
 八木 晃介
 八木 晃介
 前中 一晃
 増田 慎也
 吉永 純
 福富 昌城
 宇理須典子
 秦 康宏
 廣瀬 明彦
 廣瀬 明彦
 古井 透
 福富 昌城
 福富 昌城
 福富 昌城
 樫 智子
 尾崎 勝彦
 尾崎 勝彦
 浅山 清治
 浅山 清治
 太田 蓉子
 中川 卓雄
 中川 卓雄
 中川 卓雄
 小谷 裕実
 小谷 裕実
 小松 一子
 小松 一子
 山崎イチ子
 山崎イチ子
 三好 弥生
 山崎イチ子
 小松 一子
 山崎イチ子
 小松 一子
 山崎イチ子
 小松 一子
 島田 浩之
 大藪真知子

介護実習Ⅰ

 介護実習Ⅱ

 介護実習Ⅲ

 介護実習Ⅳ

 実習指導Ⅰ

 実習指導Ⅱ

 実習指導Ⅲ

 ○介護福祉士受験資格課程
 人権Ⅰ 8
 人権Ⅱ 8
 相談援助の理論と方法Ⅰ
 社会福祉原論Ⅱ
 社会保障論Ⅰ
 高齢者福祉論Ⅰ
 障害者福祉論Ⅰ
 権利擁護と成年後見制度
 基礎禅学1～4
 福祉サービスの組織と経営
 介護の基本Ⅰ
 介護の基本Ⅱ
 コミュニケーション技術Ⅰ
 生活支援技術Ⅰ 1
 生活支援技術Ⅰ 2
 生活支援技術Ⅱ 1
 生活支援技術Ⅱ 2

山崎イチ子
 小松 一子
 川野 素子
 村上 由佳
 山崎イチ子
 小松 一子
 川野 素子
 藤井 裕子
 山田 陽子
 小松 一子
 川野 素子
 杉原百合子
 藤井 裕子
 山田 陽子
 小松 一子
 杉原百合子
 藤井 裕子
 山田 陽子
 小松 一子
 川野 素子
 村上 由佳
 小松 一子
 川野 素子

 八木 晃介
 八木 晃介
 三品 桂子
 福富 昌城
 和田美智代
 宇理須典子
 廣瀬 明彦
 出路 光一
 安保 省吾 他
 立岡 浩
 杉原百合子
 小松 一子 他
 吉田 啓子
 山崎イチ子
 山崎イチ子
 三好 弥生
 三好 弥生

生活支援技術Ⅲ 1	山崎イチ子	心理学の人間関係論	山本 陽子
生活支援技術Ⅲ 2	山崎イチ子	コミュニティ心理学	三品 桂子
生活支援技術Ⅳ 1	三好 弥生	心理学実験実習Ⅰ-Ⅰ 1	木原香代子
生活支援技術Ⅳ 2	三好 弥生	心理学実験実習Ⅰ-Ⅱ 1	木原香代子
介護実習総合演習Ⅰ	小松 一子	心理学実験実習Ⅰ-Ⅰ 2	木原香代子
	川野 素子	心理学実験実習Ⅰ-Ⅱ 2	木原香代子
介護実習A	山崎イチ子	心理学実験実習Ⅰ-Ⅰ 3	木原香代子
	小松 一子	心理学実験実習Ⅰ-Ⅱ 3	木原香代子
	川野 素子	カウンセリングⅠ	小海 宏之
	村上 由佳	カウンセリングⅡ	橋本 和明
心理学の人間関係論	山本 陽子	福祉心理学Ⅰ	荒木ひさ子
高齢者福祉論Ⅱ	秦 康宏	福祉心理学Ⅱ	荒木ひさ子
障害者福祉論Ⅱ	廣瀬 明彦	スピリチュアリティの心理学	荒木ひさ子
人体の構造と機能及び疾病	今井 逸子	ZENと現代心理療法	荒木ひさ子
介護技術の基礎知識Ⅰ	小松 一子	卒業論文	廣瀬 明彦
心理学Ⅰ	山崎 校		渡邊 実
心理学Ⅱ	山崎 校		小谷 裕実
			小海 宏之
			東 牧子
○認定心理士資格課程			三品 桂子
心理学Ⅰ	山崎 校		妹尾 香織
心理学Ⅱ	山崎 校		矢持九州王
心理研究法	破田野智美		
心理測定法	東 牧子		
心理統計法	破田野智美		
発達心理学Ⅰ	渡邊 実		
発達心理学Ⅱ	渡邊 実		
教育心理学(学習心理学を含む)Ⅰ	塩川 真理		
学校心理学	村松 朋子		
臨床心理学Ⅰ	小川 恭子		
臨床心理学Ⅱ	小川 恭子		
心理アセスメント論	東 牧子		
パーソナリティ心理学	村松 朋子		
発達障害心理学	片岡 基明		
カウンセリングと心理療法	小海 宏之		
非行と司法臨床	橋本 和明		
心理療法学Ⅰ	荒木ひさ子		
心理療法学Ⅱ	荒木ひさ子		
障害者心理	尾崎 勝彦		
精神保健Ⅰ	小谷 裕実		
精神保健Ⅱ	小谷 裕実		
家族心理学Ⅰ	妹尾 香織		
家族心理学Ⅱ	妹尾 香織		

2. 2009年度社会福祉学部の活動

○新入生オリエンテーションの実施

4月6日(月)、新入生に対するオリエンテーションを実施した。新入生、編入生、教職員合わせて280名あまりが参加した。

午前中は、客員教授でおられる水谷修先生から、大学生としての心構えについての講演をいただいた。その後、各教室に分かれてグループで自己紹介をしながら昼食をとり、午後からはそのグループごとに分かれて、臨床心理学科と児童福祉学科は京都市内見物、社会福祉学科は福祉施設の見学等を実施した。

これまでは2日間にわたるオリエンテーションだったが、今年は1日間だけのものとなった。しかし、非常に中身の濃い内容で、学生同士や教職員との交流を深め、有意義なひとときをもつことができた。

(文責 橋本和明)

○精神保健福祉士就職ガイダンスと保健医療施設で働く卒業生との交流会開催

6月27日(土)、学部、就職課、同窓会との共催により、精神保健福祉士就職ガイダンスと保健医療施設で働く卒業生との交流会が開催された。在学生、卒業生、教職員を含め、約50名が参加した。

当日は、本学卒業生である社会福祉法人京都光彩の会の精神保健福祉士(臨床心理士)中條了氏に「これからの精神保健福祉士」というテーマで講演をお願いした後、精神保健福祉機関、医療機関の各会場に分かれて交流会がもたれた。その後、卒業生と教職員の懇談会が開かれ、卒業生間の現状報告や情報交換が行われた。この懇談会をきっかけに毎月第4金曜日の夜6時30分から9時まで、保健医療福祉関係機関で働く卒業生の研究会が本学裁松会3階社会福祉学科・臨床心理学科共同研究室で開催されるようになった。8月を除く毎月第4金曜日に開催しているので、お近くの方は是非ご参加ください。

(文責 三品桂子)

○花園大学社会福祉学会第10回大会の開催

花園大学社会福祉学会第10回が以下の要領で2010年1月30日(土)に開催されました。

(1) 学会員及び本学教員による研究発表

- ・「地域密着型在宅介護支援システムの構築」
北口昌弘(大阪バリアフリーネットワーク)
- ・「自己覚知」の方法論に対する注意喚起の必要性」
大津雅之(花園大学非常勤講師)
- ・「社会福祉士養成教育における実習教育の課題文献の検討を通じて」
安本真人(広島医療保健専門学校)
- ・「雇用対策としての介護職員養成について」
堀川茂野・中井礼子
(日本メディカル福祉専門学校)
- ・「認知症高齢者のアイデンティティの再構築をめぐって～デイサービスに通う高齢者のインタビュー調査から～」
小松一子(花園大学社会福祉学部教授)
- ・「日米の質的調査からみるACTスタッフの理念

と理念を実践するスキルに関する一考察」

三品桂子(花園大学社会福祉学部教授)

(2) 花園大学公開講演会

「脱貧困」への途-地域における社会福祉士の役割-
話し手 藤田孝典(NPO法人 ほっとポット代表)
聞き手 吉永純(花園大学社会福祉学部教授)
(文責 坂下晃祥)

3. 2009年度社会福祉学部教員の研究業績

2009年1月～12月

①単著、②訳書、③共著、④編著、⑤分担執筆、⑥論文、⑦調査報告書、⑧書評・その他、⑨学会口頭発表

○社会福祉学科

小松一子教授

⑥ 「通所介護を利用する認知症高齢者のニーズの表出と以前の生活との関連『花園大学社会福祉学部研究紀要』第17号、2009年3月、59-70頁。

「今後における介護需要」『社団法人 社会福祉振興・試験センター 平成20年度助成研究 介護福祉士養成高度化に関する研究の報告書 デンマーク王国・ドイツ連邦共和国における高齢者介護専門職養成に関する調査研究』介護福祉養成高度化研究会、2009年3月

⑨ 「介護福祉士養成高度化研究の報告」第17回日本介護福祉学会大会、文京学園大学、2009年9月。

「認知症高齢者の意欲に関する研究～デイサービスに通うインタビュー調査から～」第17回日本介護福祉学会大会、文京学園大学、2009年9月。

福富昌城教授

③ 「第7章高齢者への介護・福祉サービス」「第8章高齢者への相談援助」永和良之助・福富昌城・坂本勉著『高齢者福祉論』ミネルヴァ書房、2009年、pp.189-235、237-258。

- ④ 「相談援助のためのアウトリーチの技法」社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規出版、2009年、pp.148-15.
「相談援助における社会資源活用・調整・開発」『相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規出版、2009年、pp.98-113.
- ⑤ 「専門職の価値・倫理」社会福祉士養成講座編集委員会編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』中央法規出版、2009年、pp.132-135.
「社会資源の把握、活用、調整、開発に関する相談援助演習」「ケアプラン（介護保険制度上）に関する相談援助演習」「高齢者（認知症）とその家族への相談援助演習」白澤政和・福山和女・石川久展編『相談援助演習』中央法規、2009年、pp.130-133、pp.194-199、pp.268-271.
- ⑥ 「ケアする人のケアを考える」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第17号、花園大学、2009年、pp.51-57.

吉永純教授

- ⑤ 「ナショナルミニマムを考える ～焦点の生活保護基準額」『花園大学人権論集1 マフィア資本主義の呪縛』、批評社、pp88-118
「被保護者の権利・義務」「不服申立制度と訴訟」金澤誠一編著『「現代の貧困」とナショナルミニマム』、高菅出版 pp143-150,348-374
「はじめに」「生活保護の有期保護化とは」、『アメリカ福祉改革の悲劇に学べ！』全国生活保護問題対策会議、pp2-7,59-66
「福祉事務所の組織と運営」岩田正美・杉村宏『公的扶助論 低所得者に対する支援と生活保護制度』、ミネルヴァ書房、pp108-120
- ⑥ 「貧困から目をそむけ、生活保護の役割を忘れた判決」『賃金と社会保障』No.1486号（2009年3月下旬号）、賃社編集室、pp4-18
「平成18年（行ウ）第25号保護停止決定取消等請求事件についての意見書」『賃金と社会保障』No.1499号（2009年10月上旬号）、賃社編集室、pp9-27
- ⑧ 「雇用危機の時代の生活保護の役割と課題」『消費者法ニュース』第79号（2009年5月）、pp29-31

「生活保護を土台に重層的セーフティネットを」『消費者情報』No.406（2009年11月号）、関西消費者協会、pp12-13

「生活保護裁判の歴史と現状 -各裁判の事案と意義」『消費者法ニュース』第81号（2009年10月）、pp42-49

安田三江子准教授

- ⑥ 「『できる人』に仕事は集まるが、消えゆく人も仕事をする」『人権教育研究』第18号 花園大学人権教育センター 2009年3月 p.135-148
- ⑨ 「障害者が『少ない』日本と仕事の仕方-日本の雇用社会の一側面-」日本社会福祉学会第57回大会 法政大学 2009年10月11日

川島ゆり子講師

- ⑤ 「地域福祉計画の必要性と策定方法」野口定久・原田正樹編『地域福祉論』ヘルス出版、2009年3月、260-268頁。
- ⑦ 「平成19年度経営指標分析結果報告」『京都市老人福祉施設協議会経営委員会活動報告』京都市老人福祉施設協議会、2009年6月、5-23頁。
- ⑨ 「コミュニティ型社会福祉現場実習における価値・知識の創造と蓄積の可能性」日本社会福祉学会、法政大学、2009年9月。

○臨床心理学科

東 牧子教授

- ⑤ 分担執筆 「夫婦関係ときょうだい」「中年期・高齢期のきょうだい」藤本修編『きょうだい メンタルヘルスの観点から分析する』ナカニシヤ出版、2009年7月、66-70、108-116頁。

小谷裕実教授

- ① 『発達障害児のための実践ソーシャルスキルトレーニング』人文書院、2009年9月、総161頁
- ④ 『大学・高校のLDAD/HD高機能自閉症の支援のためのヒント集』（太田正己、小谷裕実編著）黎明書房、2009年1月、総179頁
- ⑥ 「高機能広汎性発達障害児の間接発話理解の

指導の試み—4 コマ漫画およびロールプレイを併用して—『LD 研究』第 18 巻 第 1 号 2009 年 3 月、86-94 頁

⑨学会

「現代の子どもの描画能力の発達は遅れてきているか？」第 51 回日本小児神経学会、米子、2009 年 5 月

「An experimental communication study for children with disabilities using a robot designed as inter-subjective developmental interface」2nd Asia Pacific Regional Congress、Singapore、2009 年 6 月

「強迫性障害を併発した自閉症スペクトラム障害児へのチームアプローチとその効果—病棟から通常学級への道程—」日本 LD 学会第 18 回大会、東京、2009 年 10 月

「児童養護施設における発達障害の現状とその課題」第 56 回日本小児保健学会、大阪、2009 年 10 月

丹治光浩教授

- ⑥ 「スタートレックの臨床心理学的解釈の試み」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第 17 号、2009 年 3 月、1-11 頁

橋本和明教授

- ④ 『発達障害と思春期・青年期 生きにくさへの理解と支援』明石書店、2009 年 6 月、総 320 頁。
『花園大学発達障害セミナー① 発達障害との出会い—ここでふれあうための一歩』創元社、2009 年 12 月、総 208 頁。
- ⑤ 「自分に出会う面接」村瀬嘉代子編『臨床心理学』第 9 巻第 3 号、2009 年 5 月、326-330 頁。
「法律家と協働する心理的援助」村瀬嘉代子・岸本寛史編『対人援助の技とこころ 臨床心理学増刊』第 1 号、2009 年 9 月、162-167 頁。
- ⑥ 「近年における非行の概況と援助の実際」『子どもの虹情報研修センター紀要』第 6 巻、2008 年、89-105 頁。
「高齢者虐待が深刻化する要因についての研究—事例のメタ分析を用いた虐待のメカニズムの解明—」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第

17 号、2009 年 3 月、23-50 頁。

「大矢論文へのコメント」『場としての臨床—愛知淑徳大学心理臨床相談室紀要』第 13 巻、2009 年 3 月、101-103 頁。

「少年事件の精神鑑定に求められるもの—家庭裁判所調査官の立場から—」『児童青年精神医学とその近接領域』第 50 巻第 4 号、2009 年、453-454 頁。

- ⑦ 『高齢者虐待事例集 Part.2』京都市発行、京都市長寿すこやかセンター・京都市高齢者虐待事例研究会編集、2008 年 3 月、3-19 頁。
- ⑧ 「子どもの未発達と問題行動—司法矯正・教育両領域から考える—」大阪府臨床心理士会第 17 回研修会（分科会）コメンター、大阪国際会議場、2009 年 5 月。

三品桂子教授

- ⑤ 「精神障害者のための諸制度と社会資源」麻生武・浜田寿美男『よくわかる臨床発達心理学』ミネルヴァ書房、2008 年 3 月、210-211 頁。
「ACT」日本精神保健福祉士養成校協会『新・精神保健福祉士養成講座 6 精神保健福祉援助技術各論』中央法規出版、2009 年 3 月、208-224 頁。
「ストレングスモデル」日本精神保健福祉士養成校協会『新・精神保健福祉士養成講座 6 精神保健福祉援助技術各論』中央法規出版、2009 年 3 月、225-238 頁。
- ⑥ 「ACT を日本に導入するための課題—英国から学ぶ」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第 16 号、2009 年 3 月、11-33 頁。
「米国における精神科リハビリテーションの動向」『精神障害とリハビリテーション』2009 年 6 月、6-12 頁。
「重い精神障害のある人の地域生活支援における援助者のスキル—英国バーミンガムの質的調査に結果と結果が日本に示唆すること」『精神保健福祉』第 40 巻 4 号、2009 年 12 月、341-352 頁。
- ⑦ 「教育研修とチーム形成のあり方」『平成 19 年度科学研究費基盤研究 B 報告書 包括型地域生活支援プログラムにおけるチームづくりと効

果・評価に関する研究(課題番号 19330136)』花園大学社会福祉学部臨床心理学科三品研究室、2007年3月、1-30頁。

「教育研修とチーム形成のあり方」『平成20年度科学研究費基盤研究B報告書 包括型地域生活支援プログラムにおけるチームづくりと効果・評価に関する研究(課題番号 19330136)』花園大学社会福祉学部臨床心理学科三品研究室、2008年3月、1-20頁。

- ⑨ 「しなやかさとしたたかさを備えたACTチームづくりの戦略—一日米における質的調査を通して見えてきたこと」第16回日本精神障害者リハビリテーション学会、一橋大学、2008年11月。

「超職種チームACTで用いるスキルの体系化の試み」第26回日本ソーシャルワーク学会(日本社会福祉実践理論学会)、聖隷クリストファー大学、2009年7月。

「米国におけるACTスタッフ研修とACTのコアスキル—ACTチームスタッフに求められる理念と理念を実践するスキルの視点から」第17回日本精神障害者リハビリテーション学会、日本大学工学部(郡山市)、2009年11月。

小海宏之准教授

- ⑨ [学会]

「糖尿病問題領域質問表(PAID)と性格傾向および気分状態との関連性について」第52回日本糖尿病学会、大阪国際会議場、2009年5月

「糖尿病問題領域質問表(Problem Areas in Diabetes:PAID)の因子構造に関する研究」第1回日本心身医学5学会合同集会、東京国際フォーラム、2009年6月

「糖尿病問題領域質問表(PAID)の4因子と性格傾向および気分状態との関連性について」第1回日本心身医学5学会合同集会、東京国際フォーラム、2009年6月

「高齢糖尿病患者の認知機能とHbA1c値との関連についての基礎研究」第1回日本心身医学5学会合同集会、東京国際フォーラム、2009年6月

「高齢糖尿病患者の認知機能と海馬傍回の萎縮度との関連についての基礎研究」第1回日本心身

医学5学会合同集会、東京国際フォーラム、2009年6月

「MCIおよびADの早期発見に関する神経心理学的検査の有用性」第24回日本老年精神医学会、パシフィコ横浜、2009年6月

渡辺実准教授

- ⑧ 「教育実践で大切にしたいことと学習指導要領の改訂」 発達119号 ミネルヴァ書房 2009 p.65-72

- ⑨ 「知的障害児における文字・書きことばの習得状況と精神年齢との関連」 第20回日本発達心理学会 日本女子大学 2009年3月25日

○児童福祉学科

岸野拓男教授

- ⑨学会

「保育現場における食育の取り組みの実態」日本保育学会第62回大会、千葉大学、2009年5月

津崎哲郎教授

- ⑥ 「児童家庭相談体制の課題と展望」『社会福祉研究』第104号、鉄道弘済会、2009年4月、11-18頁

「改正児童福祉法が児童相談所に求めるものとは」『月刊福祉』全社協、2009年5月、44-47頁

- ⑦ 「次期児童虐待防止法改正に向けた児童相談所の課題解決のための調査報告書」(津崎哲郎、加藤曜子他) 日本子ども虐待防止学会・虐待に関する制度検討委員会、2009年1月、総32頁

- ⑧ 「価値の選択」『花園大学人権教育センター報』大15号、花園大学人権教育研究センター、2009年4月、35-36頁

「巻頭言 ステップファミリー」『子どもの虐待とネグレクト』日本子ども虐待防止学会、2009年11月、269-271頁

矢持九州王教授

- ⑨学会

「保育現場における食育の取り組みの実態」日

本保育学会 62 回大会、千葉大学、2009 年 5 月

植田恵理子准教授

①『生徒と遊べ！ ピアノレッスン ～意欲と表現力を育てるくわはは先生＞の教室～』音楽之友社、2009 年 1 月、総 144 頁

⑧書評

植田恵理子・山本美芽編『生徒と遊べ！ ピアノレッスン ～意欲と表現力を育てるくわはは先生＞の教室～』（音楽之友社）書評、『ムジカノーヴァ』2009 年 5 月号、巻末 34 頁

インタビュー記事

植田恵理子・堀江昭朗編「今月のプレトーク 危ない状況の子どもの感性を音楽でなら育てられる」（音楽之友社）インタビュー記事、『ムジカノーヴァ』2009 年 4 月号、92 頁

連載

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 1 回 謎のメッセージ」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 4 月号、巻末 5-7 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 2 回 噴水の謎」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 5 月号、巻末 5-7 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 3 回 何の鍵？」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 6 月号、巻末 5-7 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 4 回 謎の時計」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 7 月号、巻末 7-9 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 5 回 王女様登場！」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 8 月号、巻末 5-7 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 6 回 ミドレソのドア」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 9 月号、巻末 5-7 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 7 回 怪しいジュース」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 10 月号、巻末 5-7 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城 第 8 回 地下室から脱出！」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 11 月号、巻末 5-7 頁

「音楽ワーク王国 わはは先生の譜読みの城

第 9 回 盗まれた宝石」（音楽之友社）『ムジカノーヴァ』2009 年 12 月号、巻末 5-7 頁

「わはは流 こんな授業はいかが？ 番外編 音の絵本コンサート vol.8 くもたろう」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 1 月号、58-59 頁

「わはは流 こんな授業はいかが？ 第 11 回 教科書でこんなに遊べる！④～和楽器の音を声で？～くさくら」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 2 月号、58-59 頁

「わはは流 こんな授業はいかが？ 第 12 回 教科書でこんなに遊べる！⑤～職場体験や技術家庭（家庭分野）の前準備？～くさぎぎ」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 3 月号、58-59 頁

「あっとおどろく わははな授業！！ 第 1 回 リコーダーであそぶ！ くさぎぎ」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 4 月号、56-57 頁

「あっとおどろく わははな授業！！ 第 2 回 リコーダーであそぶ！② 目指せ！ 巻き舌マスター？」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 5 月号、56-57 頁

「あっとおどろく わははな授業！！ 第 3 回 リコーダーであそぶ！③もしかして、マーチングバンド？」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 6 月号、56-57 頁

「あっと おどろく わははな授業！！ 第 4 回 リコーダーであそぶ！④ 波の音をつくろう 交響詩くうみはひろいな？」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 7 月号、56-57 頁

「あっと おどろく わははな授業！！ 第 5 回 リコーダーであそぶ！⑤ 夏だ！ 祭りだ！ ピ～ヒャララ！」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 8 月号、56-57 頁

「あっと おどろく わははな授業！！ 第 6 回 リコーダーであそぶ！⑥リコーダーで奏でるく虫の世界>!？」（音楽之友社）『教育音楽小学校版』2009 年 9 月号、54-55 頁

「あっと おどろく わははな授業！！ 第

7回 リコーダーであそぶ!⑦運動会はリコーダーの演出で!」(音楽之友社)『教育音楽小学校版』2009年10月号、54-55頁

「あっと おどろく わははな授業!! 第8回 番外編 指令:生活発表会は、全学年の協働を意識せよ!」(音楽之友社)『教育音楽小学校版』2009年11月号、54-55頁

「あっと おどろく わははな授業!! 第9回 <学内アウトリーチ>のススメ」(音楽之友社)『教育音楽小学校版』2009年12月号、58-59頁

⑨学会口頭発表等
学会口頭発表

「参加体験型音楽劇『音の絵本』の実践(2)一協働を意識した表現教育の試みー」日本学校音楽教育実践学会第14回全国大会、国立オリンピック記念青少年総合センター、2009年8月企画事業

「子どもの即興表現を生かした劇遊び活動」企画・指導講師、吹田市立千里新田幼稚園との共同プロジェクト 2008年10月~2009年2月

「音の絵本コンサート vol.8 <ももたろう>」企画・演出・脚本・作詞・作曲・音楽指導・総合プロデュース、大阪府豊中市との共催事業、2009年2月8日

「音の絵本<ぼちぼちいこか>」企画・演出・総合プロデュース、ドイツ、トラウンヴァルヒェン州立、オルフ小学校での交流プログラムにて実施、2009年7月29日 主催:NPO法人 日本エデュテイメントカレッジ
講演

「音と遊びの世界~こどもたちと共に創る表現の世界~」川西市私立幼稚園連合会教員研修会、2009年1月21日

「歌の大好きな子どもに育てるために」新清和台幼稚園園内研修、2009年5月2日

「協働を意識した音楽指導」新清和台幼稚園園内研修、2009年5月30日

「自主性を育てる・音楽活動を企画演出できる力を育む」新清和台幼稚園園内研修、2009年7月10日

「歌を発展させて即興劇につなげる指導」新清

和台幼稚園園内研修、2009年8月31日

「あっとおどろく‘わはは’なレッスン!」三木楽器・開成館、2009年10月20日

「合奏を意識した音楽指導」吹田市立東山田幼稚園園内研修、2009年11月2日

「協働を意識した音楽指導」吹田市立吹田第一幼稚園園内研修、2009年12月1日

「合奏指導について①」新清和台幼稚園園内研修、2009年12月3日

「合奏指導について②」新清和台幼稚園園内研修、2009年12月5日

「合奏指導について③」新清和台幼稚園園内研修、2009年12月25日

4. 2009年度卒業論文題目一覧

○社会福祉学科

父子家庭の現状と課題	足利 真章
ひきこもりについて	芦田 裕
DV問題とその対応	天本 沙智
LDの理解と支援のあり方	池内 友保
特別養護老人ホームの生活を検証する	池田実由貴
いじめ原因についての考察	池淵 妥
音楽療法士の重要性	石田 一也
認知症の独居高齢者がその人らしく暮らし続けるために必要なもの	石田 大志
自閉症とコミュニケーション	石田 祐貴
年金制度と国民の意識	伊藤 明洋
地域小規模型の施設養護の試み	糸賀かなえ
要介護高齢者を介護する障がい者の負担	井上結加里
家族会に参加する介護者の精神的変化からみる家族会の存在意義	上田恵理子
学生の実親の施設入所に関する意識調査	上田 裕希
未来の地球環境の課題	浦上 直輝
自閉症者とのコミュニケーション	大川 雅世
中途障害者の障害受容のプロセスについて	岡本祐里子
生活保護や生活保護受給者に対する偏見や差別的発言はなぜ起こるのか	小川 尚人
介護老人保健施設の在宅復帰支援への取り組みに	

ついて	奥村千恵美	高齢者の笑顔のために	澤田 尚樹
野宿脱却者のアフターケアの必要性	小澤 泉	障害者雇用の意義と課題	柴田 明希
就職を意識している大学生の介護に対するイメージについて	小田孝太朗	虐待による子どもへの影響	柴田 有輝
趣味は生きがいになるか	小野友紀絵	性的虐待の隠れた現状と支援	隅田 未緒
認知症高齢者の家族の支援	勝山 愛子	高齢者と学生のおしゃれに関する比較調査	住野 華織
後期高齢者医療制度の問題点と課題	加藤 直樹	障害者スポーツについて	高杉 勇大
自閉症児をよりよく理解するために	加藤 千雅	自閉症とコミュニケーション	高浪重里沙
ホームレス支援における文化活動の重要性とその効果	金野 哲哉	「高齢者デイサービスと幼老共生型デイサービスに通う高齢者の子どもに関する意識調査」	高橋 愛
アニマル・セラピーと日常生活の一考察	上川 有以	こうのとりのゆりかごの必要性	田川愛美子
介護福祉士が働き続けるやりがい・魅力についての意識調査	川島 瑞穂	虐待としつけ	竹田 友紀
知的障がい児の教育実践	川野二美予	派遣労働の問題点と解決の方向性について	立原 直高
わが国で里親制度がなぜ広まらないのか？	川畑 優作	格差社会の現状	田中 梓
現代社会における学校教育	木村 功	高齢者が地域で暮らし続けるために必要なソーシャル・サポート・ネットワーク	田中 収人
子どもを取りまく貧困の状況	木村 剛士	女性脱毛症患者の克服過程	田中 希
子どもの貧困	草分 亮輔	若者の雇用問題と学生の意識	田中 雄大
家庭内における高齢者虐待に関する研究	熊谷 大輔	DV 家族の背景と特性	飛川 政樹
一人暮らしをしている認知症高齢者を持つ家族の支援のあり方	熊本 脩平	望ましい福祉の住環境	友松 浩一
ワーキングプアと非正規労働	高阪 篤史	しつけと虐待	中江 圭介
身体障害者の生活を援助する福祉車輛の役わり	越田 宏明	聴覚障害と情報格差	中川 朋美
児童虐待について	小牧 礼宗	高齢者虐待について	中城明日香
家族介護者の近隣への関わりと介護負担感との関連性について	境井 彩乃	奈良市における福祉用具貸与の現状と課題	中村 晋也
認知症高齢者を介護する家族の負担と支える方法	阪崎 裕	「子どものうつ」から考える、家族・地域のあり方	新谷 瑞香
高齢者虐待に対する地域包括支援センターの役割	渡邊 隼人	知的障害者ケアホームの現状と課題	西森 香
介護保険の問題点	坂本 大宜	日本の高齢者入所施設の入所者の地域への外出について	野口 恭平
障がいのある人のセクシュアリティと恋愛観・結婚観	相模 政信	児童虐待について	長谷川 剛
老人デイサービスセンター（通所介護施設）の役割に関する一考察	櫻田 泰章	限界集落の現状と課題	濱口 和志
在宅元気高齢者の生活事例研究	佐藤 晴紀	施設における虐待支援	原 佑輔
高機能自閉症児とのコミュニケーション	澤井 愛美	教育現場における発達障害	人見 靖泰
		盲導犬と視覚障害者	福嶋 由也
		ホームレスの健康状態について	藤本 佐保
		ホームレスの実態とその支援について	藤本 達也
		身近なバーンアウト	藤原多久実
		いじめとその解決策についての考察	藤原 良太
		大学生と介護職員による看とり意識の違いについて	

商業的性的搾取に関する一考察	松岡 奈緒	身体障害者とオートバイ	長光 飛生
施設と家庭	松本 隆	脳性麻痺（者）に関わる人の思い	山本はるか
メンタルトレーニングを生活に生かす	三上 和史	認知症高齢者の在宅介護に関する事例研究	
低所得高齢者の生活困難について	宮川健太郎		松井 幸徳
自立生活センターについて	三宅美智代	子ども虐待	呉 志英
高齢化社会における介護問題	宮崎 由策	児童養護施設におけるファミリーソーシャルワーカー	金光 泰子
介護者家族のストレスについて	森垣 香里	手話通訳について	鈴木 一暢
自閉症児と療育	森下 良亮	サービス業の理想をめざして	仲西 健一
TEACCHにおける構造化による自閉症児への支援	矢島 裕衣	リハビリテーションと障害者援助	西川慎之介
介護労働者の施設での労働待遇について	安江 悠可		
なぜ介護タクシーが広まらず、普及しないのか	安田 礎	○福祉心理学科	
児童センターにおける子どもの発達について	矢野 善弘	親が認識した自閉症児・者のこだわり行動のはじまり	青野 康平
子どもの言動と行動の変化について	山内 勇也	音楽と思い出の関係性について	石川 大地
認知症の方の心理と介護について	山本 大	音楽の好みと服装の好みの共通性に関する一考察	市井佐由理
被虐待児に対する施設での支援	山本夫美子	教育現場における親・教師関係と取り巻く環境の時代変遷について	上村 達矢
要介護老人における住環境に関する一考察	鏑 聡子	雰囲気と音楽の関連性	上村 竜介
ネットカフェ難民の生活の実態と改善の方向	横畠 大樹	ガイドヘルパーの現状と課題	薄木 康正
母子家庭の就労支援	吉河 一輝	オンラインゲームの魅力と依存	内海 栄子
中国と日本の高齢者福祉の現状と未来	米田 直矢	障害児の就学時における親の心理	梅井 美希
温暖化のもたらす影響	張 安宇	聴覚障がい者の手話ニュース理解について	海老池優衣
障害者の仕事と環境	飯田 能啓	肢体不自由児におけるリハビリテーションと教育	太田 学
コーチングと社会福祉	石田 累	肢体障がい者が感じる観光時の物理的バリアと改善策	太田 博基
DV 被害者への支援のあり方	奥村 侑輝	大学生の自傷行為に対する意識	大橋奈緒子
障害児療育キャンプが学生にもたらす影響	角田 洋子	新体操の練習や試合におけるメンタルトレーニングの価値	岡久 直哉
在宅高齢者の食生活の実態	岸本 浩和	施設における自閉症の子ども	岡部 昌能
なぜホームレスになってしまうのか	坂東 誠司	人とコンパニオンアニマルの関係における愛着と喪失感	奥田知奈津
自殺が周囲にあたえる影響	福光 皓平	能動的買い物行動の法則	奥村 理世
集団保育施設における食品衛生管理	藤井 純一	児童養護施設で生活する子どもに対する援助	小沢 敬也
里親の必要性和その課題	古川 有紀	スヌーズレンの現状と今後の展開について	小田原一平
児童養護施設退所後の児童の実態と援助の在り方	元藤 透	叩くしつけ、叩かないしつけ	片山 大輔
デフ・フリースクールのろう教育について研究	森 杏奈	化粧療法による心身の変化	加藤 晴子
限界集落の福祉の問題について	出淵 義明		
	藏坐ひとみ		

味覚のイメージ	加藤 寛務	のび太が周囲から見捨てられず、日々を楽しく過
福祉を学ぶ学生の死生観について	角家和香子	ごしている理由
幼児期における子育て不安について	川内 靖子	TEACCH プログラムによる自閉症児への指導に
子供が親に抱く感情とその変化	河嶋 孝明	ついて
音楽とモチベーションの関連性	木藤 好洋	高校生と大学生の携帯電話の使用実態と依存
甲子園はどの程度バリアフリー化されたのか	熊本 竜次	アスペルガー症候群の子どもとの関わり方
支援者が感じている精神障害者就労支援の課題	久留宮祐樹	特別養護老人ホーム施設の利用者の生活状況と生
児童養護施設における問題と今後の課題	阪野 大輔	活の質 (QOL) を向上させるには
認知症高齢者に対する回想法の効果	櫻井 健太	過保護についての意識
小児病棟におけるチャイルド・ライフ・スペシャ	柴崎 友希	私の町のバリアフリー
リストの心理的役割	清水 竜	学生と高齢者のバリアフリーに対する意識差につ
ベットが大学生の心理に与える影響について	杉本 侑弥	いて
スポーツ種別と心理的競技能力の差	須甲 彩美	色彩が人に与える心理的・身体的影響
公園の遊具の安全性について	高石 麻里	過換気症候群に対する大学生の意識調査とその実
児童虐待における日英国際比較	高尾 憲治	態
精神障害のある人の一般就労における離職の問題	高橋友里恵	ギャンブル依存症とその原因
絵本の読み聞かせパターンによる内容の理解	竹村 弘志	孤食の現状と影響について
大学生に見られる日常生活のトラウマから積極的	辰己 彰	リーダーに選ばれる理由
思考に至る心理的要因について	田中 祐志	学生におけるデート DV の意識と実態
DV (ドメスティック・バイオレンス) の実態とそ	田中 亮太	ギャンブル依存症
の救済方法について	玉松 沙香	笑いと対人関係
住環境への愛着	田村 祐基	聴覚障がい児と親の受容について
友人間のコミュニケーションにおける傾聴の効果	力石 望	父親の育児協力と母親のストレスとの関係
児童養護施設における食育について	坪倉 吉隆	平井 亜樹
教育現場におけるいじめの実態とその変遷	都出 修吾	虐待による愛着障害に対するケア
美容整形による心理的効果	徳村 昂希	摂食障害に関する原因についての一考察
自閉症児の成長と療育	富田 高博	福永 雄輔
ノンバーバル・コミュニケーションが及ぼす対人	中村 祐輔	福原麻由香
魅力の重要性		少年犯罪と虐待の関係について
大学生のメンタルトレーニングに対する意識につ		AD/HD 児への親の関わり方
いて		大学スポーツクラブにおけるメンタルトレーニン
デジタルゲームの活用可能性について		グの一考察
自閉症を持つ子どものコミュニケーションにおけ		人工妊娠中絶と子どもの命
る言語的特徴に関する研究		恋人選択に及ぼす外見の魅力の影響
		発達障害と家族
		村上 将司
		自閉症児・者をもつ親 (母親) のストレスについ
		て
		森谷 聡
		児童養護施設における子どもの進路について
		安井 彩夢
		テレビゲームが青少年に与える心理的影響につい
		て
		安田 定晃

ペットと女性の人生観の関係に関する考察	安田 佑華	考察	橋崎 康彦
様々な暴力行為に共通する心理的意味	山口 麻紀	終末期における介護者と患者の心理状態に関する	
音楽が感情に与える心理的効果	山腰 佳太	考察	小谷 裕実
児童期前半における性役割態度の認知と発達	山崎 利紘		
老人介護における家族心理	山下 力		
若者に及ぼす依存の影響	山本 翔大		
血液型性格判断の妥当性についての一考察	横山 和博		
子どもの遊びの現状と課題について	吉川 歌織		
児童・青少年の自殺の実態とその予防策について	渡邊 俊介		
の一考察			
障害児を持つ母親が抱えてきた問題と支え	井上 知香		
看護職における利用者との信頼関係構築の検討	岩村 勝		
精神しょうがい者に対する共同作業所の役割	岡本 健佑		
特別支援学級の子どもに対する健常児の関わりを	金井 麻里		
考える			
障害者自立支援法導入後の障害者の心理	川畑 三久		
アスペルガー症候群の子どもに対する家族の関わり方	高岡 理恵		
絵画表現力が描画テスト結果の解釈に及ぼす影響	高橋 祐子		
第一印象を変化させる要因	中島 史貴		
男性保育士の現状と課題	村上 智大		
障がい者きょうだいが直面する様々な問題について	奥田めぐみ		
ニュースから詠める群集心理	井上 絢子		
手品の可能性	奥井 俊徳		
自殺の現状と予防に関する一考察	草川 翼		
学童保育における安全で豊かな生活	畠山 京子		
福祉と食についての一考察	脇坂 悠平		
精神障害者の対人関係のつまずきとその援助	橋本東代子		
介護者にみる死生観についての検討	立石 貴大		
京都市における高齢者地域支援事業の現状とその課題	阿部 亮太		
介護現場における現状と職員のストレスに関する			